

地域のたから 東西線編

沿線ぶらり散歩

「弥生時代からの穀倉地帯」

仙台市博物館 学芸普及室長 菅野正道



第1回 荒井駅

地下鉄東西線の開業にあわせ今月号からコーナーをリニューアルし、駅周辺の「地域のたから」をご紹介します。

津波の痕跡

いよいよ地下鉄東西線が開業になりました。その東の起点で、車両基地も置かれる荒井駅一帯は、どんな場所だったのでしょうか？

もともと荒井周辺は、「七郷」と呼ばれた地域の一部でした。七郷とは、南小泉・六丁目・伊在・蒲町・霞目・長喜城・荒井・荒浜の八地区（江戸時代の村）を合わせた地域のことです。この地域は、明治三二年（一八八九）に七郷村となり、昭和一六年（一九四二）に仙台市に合併されています。荒井は古くから七郷地区の中心地で、七郷村の村役場や小学校、中学校が設置されました。荒井が七郷の中心となったのは、周囲に



七郷神社の拝殿。12月初旬に訪れたところ、師走の寒さに負けず、桜の枝にいくつもの花が咲いていました。

比べてやや高い地形が広がっていたからで、人々はここに家屋敷を作り、周囲の湿地帯に切り開いた水田を耕作したのです。それを証明するように、付近で行われた発掘調査では、弥生時代だった約二千年前の川の跡や水田の跡が見つかり、そのころに使われた木製農具も数多く出土しています。

なかでも注目されたのは、東西線車両基地の場所にあった杵形遺跡です。発掘調査により、水田を二千年前の津波がもたらした海の砂が覆っている状況が確認されました。

杵形遺跡で津波の痕跡が確認されたのは平成一九年のこと。その数年後に発生した東日本大震災は、七郷地区東部を含む、仙台市沿岸部に大きな被害をもたらしました。荒井駅に併設された「せんだい3・11メモリアル交流館」には、沿岸部のイラストマップや震災前の記憶を伝えるスライドショー、震災文庫が設けられています。この未曾有の災害の記憶を将来へ伝えていくのは、被災地である仙台の責務とも言えるでしょう。

居久根と村の社

かつて荒井周辺に数多く分布していた農家は、屋敷の周囲に「イグネ」と呼ばれる屋敷林を有していました。イグネは風雪から家を守るだけでなく、材木や燃料、木製の道具、そして食料の供給源として、平野部の暮らし

に重要な役割を果たしていたのです。

荒井駅周辺は平成になってから急速に進んだ開発や区画整理によって、イグネに囲まれた屋敷の景観は、多くが姿を消してしまいました。それでも、荒井の南に接する長喜城地区には、イグネを残した屋敷が残り、かつての仙台平野の農村風景をとどめています。

イグネに囲まれた古い農家では、屋敷の一角に「お明神さん」と呼ばれる屋敷神を祀るのが一般的でした。それと共に、集落には村の守り神となる小さな社もあり、村人たちの心のよりどころとなっていました。近代になり「村の社」は次第に数を減らしますが、長喜城の皇大神社や荒井の七郷神社のように残された社は、境内に集会所や消防団の倉庫、公園が設置されるなど、地域のコミュニティ施設としての役割も果たすようになっています。

七郷神社で春と秋の祭礼に演じられる神楽は、古い姿を残すものとして市の無形文化財に登録されています。すっかり住宅地に変貌した荒井駅周辺ですが今もまだ古い地名が残っています。弥生時代以来連続と続いた穀倉地帯の面影を、地名や神社を尋ねてのんびりみませんか？



講座

「こんなことわかりました。仙台市史」

●申込不要・聴講無料●

市史編さん事業の成果をテーマ別にご紹介します。

会場：仙台市博物館ホール／定員：200名

●1月16日(土)13:00～15:30

①現代編「仙台の市政」

②近代編「華都仙台」

講師：①元仙台市民文化事業理事 長佐藤信夫氏

②当館職員 中武敏彦

●1月30日(土)13:00～15:30

①近世編「伊達政宗書状のかたち」

②近世編「お殿様と能」

講師：①当館職員 明石治郎

②当館職員 菅原友子

「仙台市史」の成果を語る実物、出しています。



仙台青葉城中御屋作眺望図巻 仙台市博物館蔵 [通期展示]

12月5日(土)～平成28年2月28日(日)

前期：12月5日(土)～1月17日(日) 後期：1月19日(火)～2月28日(日)

※会期中、一部展示替えを行います。

「仙台市史」完結・仙台市地下鉄東西線開業記念 企画展

せんだい再発見!

「こんなことわかりました。平成の『仙台市史』」

【観覧料】常設展料金でご覧いただけます。

一般・大学生：400円、高校生：200円、

小・中学生：100円

■主催：仙台市博物館 ■共催：仙台市史刊行委員会

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM

開館時間：午前9時～午後4時45分(最終入館午後4時15分) ●1月の休館日：月曜日(1/11は開館)、12/28(月)～1/4(月)、1/12(火)

TEL:022-225-3074 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/>